



三城ものがたり

やさしく かしく たくましく

令和7年7月18日
大村市立三城小学校
発行 石司 貴弘



第1学期終業式

三城っ子みんなが、元気に1学期のゴールを迎えることができました。
4月7日の始業式で、子供たちに「やさしく かしく たくましく」の3つを
もとに、**こんな三城っ子になってほしい**と、わたしの願いを伝えました。



- ☆ **やさしい子**…周りの人に対して思いやりの心をもって、あたたかい声かけやサポートができる人
- ☆ **かしい子**…学習に進んで取り組み、自分の力(わかる・できる)をのばす人
- ☆ **たくましい子**…明るく元気に過ごす人 苦しいことにもねばり強く挑戦する人・続ける人

子供たちは、それぞれによくがんばりました。一人一人の子供たちの健気な努力に心からの拍手を贈ります。
1学期の学びを通して**子供たちの素晴らしい姿**が見られましたので、その一部を紹介します。

【やさしい子】

- 「おはようございます こんにちは」…あいさつで周りの人にさわやかさを届ける人が増えました。
- 学校生活に慣れず、戸惑う1年生に対して、6年生がやさしく声をかけて励ましていました。
- 仲間と心をつなぐ行事を盛り上げました。**特に、みんなで作った運動会は見事でした。**
- 教室や廊下、運動場、それから登下校の途中でも落ちているゴミを進んで拾う人がいました。
- 高学年の委員会活動が活発になり、みんなの幸せのために動く人がいました。
- 靴箱、雑巾かけ、トイレのスリッパ、図書室の本など、みんなで使うものを美しく整える人がいました。

【かしい子】

- 学習を始める前の道具や心の準備をする人が増えてきました。(3つの構え…身構え・モノ構え・心構え)
- 漢字や計算の練習、家での音読練習を毎日続けた人がいました。(続ける粘り強さ)
- 「友達や先生の話聞く」「一人で考える」「意見を伝える」という学びの約束が身に付きました。
- 宿題以外に、自分がやってみたくいこと、面白いと思ったことを「自主学習」として挑戦しました。

【たくましい子】

- 休み時間には、外で体を動かして元気に遊ぶ人がたくさんいました。
- 家族と協力して、家での生活リズムをよくしようと考えました。(早寝早起き朝ご飯)
- 帽子をかぶったり、タオルで汗をふいたりするなど、自分の体を守る意識が芽生えました。

学校生活では、楽しいことばかりではなく、乗り越え体験・克服体験をさせるべき**適度な困難さ**があります。

- ◇ **苦手なこと・うまくできないこと・おもしろくないこと**であっても、挑戦・経験する。
- ◇ **意見が合わない他者**と折り合いをつけることを学ぶ。(何でも自分の思い通りになるわけではありません。折り合い・がまん・ゆずりあい・話し合いなど、社会を生き抜くスキルを学びます。)

子供にとって楽しいことだけ、好きなことだけの学校では、きっと「やさしくて かしく たくましい三城っ子」は育ちません。学校職員は、楽しいことは楽しく学べるように、ややハードルの高い学習であっても、**やる気を奮い起こさせる、できた喜びを感じさせる**ようなかわりを行ってきました。職員の子供とのかかわりと、子供たちの伸び(変容)について、通知表にてお知らせしますので、お子さんに称賛の言葉を伝えてください。

学校教育に対する保護者の皆様のお力添えに感謝を申し上げます。2学期もよろしくお祈りします。

有意義な夏休みになりますように

1 家族みんなで 生活リズムを整えましょう

夏休みは学校生活で言う「時間割」がありません。一日の過ごし方を家族と一緒に考えて、規則正しく過ごせるように「考える・実践する」貴重な機会なのです。

夏休みは時間がたくさんありますが、ダラダラと過ごしてしまうと心や体のバランスが崩れてしまいます。「早寝・早起き・朝ごはん」の基本的なことを守るとともに、日中にどんなことに取り組むか、計画を立てることも大切です。長い休みの一日一日を大切に過ごしてほしいと思います。



2 ふだんできないことに 挑戦しよう

1学期に学習したことの振り返りを行い、できるようになったことをさらに伸ばすことも大切です。また、担任から「課題」としてこれから取り組むことのヒントを伝えられたケースもあるでしょう。それぞれに2学期の学びに向けて自分のペースで取り組んでみましょう。

また、それ以外に自分が「知りたいこと」「好きなこと」「作りたいもの」などについて、調べたり、挑戦したりする時間があります。家族のみなさんと一緒に取り組むと楽しくできますね。



3 家の仕事を 家族みんなで 分担しよう

学校でも職場でも、多くの人とともに暮らす「社会」では、みんなが気持ちよく暮らすための大切な仕事がありますね。中には、あまり気の進まない仕事もあるでしょう。しかし、そこにこそ大切な学びがあると思うのです。

きついこと、面倒なことでも「子供に任せる」または「大人と一緒にする」機会を作っていただきたいと考えます。その時に必ず添えて欲しいのは、取り組んだ事への誉め言葉です。「おかげでたすかったよ」「ありがとう」といった言葉で、子供は自己肯定感を抱き、さらなるやる気を高めます。



「いのちを守るための正しい考え・正しい行動」を教えましょう

～ 長い夏休みを、安全に楽しく過ごすために ～



子供たちの安全指導を行う上でポイントとなるのは、**大人が想像力を働かせる**ことです。つまり、子供たちの性格や行動の様子から、**考えられる危険を予測**して、事故を防ぐためにできる限りの手を尽くすことです。

- ◇川や海での水の事故
- ◇交通事故
- ◇熱中症
- ◇花火などの玩具での事故
- ◇不審者等…



夏休みは子供にとって自由な時間があります。命を守るために**してはならないこと、守らなければならないこと**を親と教師でしっかりと、教えてまいりましょう。地域の方から、「子供たちだけで大上戸川で遊んでいる!」と心配の声が届きました。ご家庭でのお話や見守りをお願いします。

